

# 「漢語橋」世界大学生中国語コンテスト日本決勝戦に出場して

山梨学院大学 経営学部 1年

澤登早也香

## 大会参加と受賞

私は、2025年6月21日に法政大学で開催された第24回「漢語橋」世界大学生中国語コンテスト日本決勝戦に出場しました。全国から約150名の学生が集まり、スピーチ、中国知識クイズ、中国の伝統芸能パフォーマンスで競い合う大きな舞台でした。その中で私は三等賞をいただくことができ、本当に嬉しく、これまでの努力が報われたと感じました。

## 北京での体験

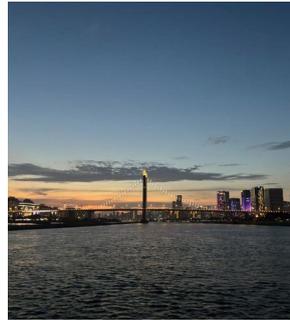
今回の受賞をきっかけに、『漢語橋』の訪中プログラムに参加することができました。このプログラムは2025年8月18日から27日まで、往復を含めて9日間の日程でした。最初に訪れた北京では万里の長城や故宮を見学し、歴史のスケールの大きさに圧倒されました。一方で、観光地を歩き回ってヘトヘトになりましたが、『次に行くときはぜひ万里の長城を登り切りたい』と思いました。



## 福州での交流

続いて訪れた福州では、第 24 回「漢語橋」世界大学生中国語コンテスト世界決勝のテレビ番組収録を見学したほか、三坊七巷や台江区、平潭国際観光島などを巡り、伝統的な街並みや文化を体感しました。炎天下の中でも、現地の方々が「水はいりますか」「荷物を持ちましょうか」と声をかけてくださったり、扇子であおいでくださったりしたことが、とても温かく心に残っています。

especially lively "mood-makers" who always brought smiles and energy to the whole bus (especially Sayaka's laughter). Of course, I also remember those who are more



## 仲間との出会い

初めての海外ということもあり、最初は言語の壁や環境の違いに戸惑い、不安を感じることもありました。けれども、日を追うごとに多くの仲間と打ち解け、街に出かけては拙い中国語や英語で語り合い、毎日のように大笑いするほど楽しい時間を過ごしました。別れの前夜は一晩中語り合い、出発の朝には涙が止まらないほどでした。

## 今後に向けて

新しい仲間との出会いを通じて「もっと語学を頑張りたい」と強く思うようになりました。また、LINE や Instagram が使えない環境だったからこそ、外国語のコンテンツに触れる機会が増えたことも大きな経験になりました。

今回の「漢語橋」を通じて得られた経験や交流は、私にとって大きな自信になりました。

これからは通訳という新たな夢の実現に向けて、さらに努力を重ねていきたいと思えます。